

## 21) 靈的エクササイズ 15. 2020年4月29日 (水)

朗読 使徒言行録8：1b-8

福音 ヨハネ6：35-40

父と子と聖霊の御名によって アーメン。イエスと御母マリア、私たちの優しい御母は賛美されますように！

兄弟姉妹の皆さん、ヨハネ6章でイエスは、「わたしが命のパンである、わたしのもとに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者は決して渴くことがない」と言われています。

人間の深いところにある「餓え」とは何でしょう？ 人間はパンだけで満腹するものではないことを、私たちは皆知っています。私たちには「愛」が必要なのです。

「愛」への餓えは、私たちの中にある最も強く最も大きな力なのです。「愛」は最大の力であり、磁石です。「愛」は互いを引き合い、本当の「愛」は束縛しませんし、強要しません。

この「愛」を示すために、イエスは来られたのです。御父の「愛」をすべての人に現すために、そして、イエスの「愛」をあなたに現すために来られたのです。

あなたが自覚する以上に、神はあなたを愛しておられます。あなたが神を愛するよりもずっと神はあなたを愛しておられます。

神は、あなたが神の愛を信頼することを待たれています。神があなたにお与えになるものを、あなたが受け入れることを待っておられるのです。

イエスの最も大きな餓えとは何でしょう？ イエスの最大の原動力は「愛」でした。イエスは御父に満たされていました。イエスは朝のまだ暗いうちにひとりで祈りに行かれたことを、福音史家たちは記しています。

イエスはアッバと、御父と二人きりの時を持ちたかったのです。イエスには御父と語り合うこの二人だけの時間が必要でした。

皆さん、それなら、私たちにはどれほど必要でしょうか？

1日も祈りをせずに生きることは可能でしょうか？

「ええ、1日くらい祈らなくても大丈夫」「2日くらいは大丈夫」。

そのうち、私たちの心は無関心、冷淡になっていきます。

私たちは、「愛することができる」ということを守らなければなりません。ついた埃（ほこり）は常に払わなければなりません。

今、私たちは黙想会中です。毎日靈的エクササイズをしています。しかし、今している、神への愛に応えるための努力は、黙想会中かどうかに関わらず、私たちが毎日しなければならぬことなのです。神のもとへ行き、神のもとに留まることは、毎日すべきことです。

イエスは言われました。「あなた方はわたしを見ているのに、信じない。」

このテーマで、たくさんのセミナーや黙想会、説教が行われます。この意味を心で理解するためには、それはとても良いことだと思います。

しかし、その前に…ダイレクトに言いますが…イエスを所有するには、イエスを信じなければなりません。この一步は、私たちが自分でしなければならないことです。

「イエスよ、あなたを信頼します」「今のままの私を、あなたが愛してくださることを信じます」とイエスを信頼し信じ切ることがまず必要なのです。

私がそうありたいと思う私ではなく、今のままの私をイエスは愛して下さっています。こここのところに問題がある人がいます。

「私はこのままではいけない。私はこのようになりたい。そうしたらイエスは愛して下さるだろう。」

いいえ、イエスは「今のままのあなたを」愛して下さっています。弱さも過ちも恐れも不完全さも、すべて含めた今のあなたを。

イエスは、「わたしをお遣わしになった方の御心とは、わたしに与えてくださった人を一人も失わないで、終わりの日に復活させることである」（ヨハネ6：39）と言われていきます。イエスの望みは、私たちの望みよりも遥かに強いのです。

あなたが弱さを感じる時、押し潰されているように思う時、次のように私が言うことを許してください。うわべの慰めは役立ちません。私たちは神を信じています。私たちは、強い弱い程度の差こそあれ、ある程度の信仰を持っています。しかし、私が思うには、神はあなたが自分で信じる以上に、あなたを信頼してくれているのです。

神が、「愛する」能力を与えてくださった方です。その方が、この能力を支えてもくれます。

神が、聖霊であなたを満たしたいと思われている方です。あなたが「信じる」ことができるように、御父、イエス、聖霊に対するあなたの愛を、みことばによって増したいと思われている方なのです。

これからの日々、あなたの信仰、希望、愛が育つように、あなたの心にイエスが聖霊を送ってくださるよう祈っていきましょう。

全能の神、愛に満ちた神、慈しみの神が皆さんを祝福してくださいように。

父と子と聖霊の御名によって、アーメン。

皆さん、愛なる聖三位一体に祝福された日をお過ごしください。